

インシデント被害調査ワーキンググループ

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
WGリーダー 神山 太郎

インシデント被害調査ワーキンググループ（以下「被害調査WG」）は、インシデントが発生した際の「被害額」を調査し、レポートとしてとりまとめることを目的に、2020年に発足したワーキンググループです。

当初の目的でもあったレポートは、2021年8月に「インシデント被害額調査レポート」というタイトルをもって公表させていただきました。

いくつかのメディアで取り上げられたほか、著名かつ複数の業界関係者の方にSNS等で取り上げていただいたことで、僭越ではありますが、ご存知の方も多いところではないかと思えます。

本稿では、被害調査WGの発足の経緯、活動等をご紹介します。

インシデント被害額調査レポート



<https://www.jnsa.org/result/incidentdamage/2021.html>

検索サイトで「インシデント損害額」の語で調べていただければ幸いです!!!

発足の経緯

被害調査WGの発足は、JNSAの重鎮たるMさんと、「セキュリティ被害調査WG」のリーダーのOさんのお二人の課題認識に始まったと思います。

JNSAのWGの中でも「セキュリティ被害調査WG」（名前が似ていますが別のWGです）は、多くのITベンダがそのレポートを引用するなど著名なWGですが、その調査対象は個人情報漏えい事案であり、さらには個人情報情報が漏えいした場合の損害賠償金の額を分析するといったものでありました。

この点、ランサムウェアの被害など、今日的な観点等からすれば、調査対象を個人情報漏えいに限るのではなく、インシデント全般、損害賠償金以外の被害額にまで、その調査対象を広げていくべきだというお考えがお二人にあったのではないかと思います（違ってたらごめんなさい!）。

そのような状況のもと、お二人のお声がけ（JNSAからのメール）もあり、都内某所に意を決した人達が、和気あいあいと集まったのがそもそもの始まりです。

小職が思っていたこと

小職は、あいおいニッセイ同和損保という損害保険会社で、サイバー保険の企画・開発・推進といった仕事をしています。

しかし、その販売に際しては、サイバーリスクを「他人事」「対岸の火事」と捉えている中小企業の経営者が多いことを実感していましたし、サイバー攻撃を身近な出来事として捉えて欲しい、セキュリティ対策をもっと取り組んで

欲しい、そんなことを思っていました。

さらにいうと、中小企業がサイバー攻撃を受け、場合によっては数千万円～の損失が生じている現状をみるにつけ（サイバー保険には未加入…）、中小企業の経営者に現状を認識してもらうほか、ITベンダの方々にも、中小企業の経営者に対して、このような損失が生じる可能性をもっと伝えて欲しい…。とそんなことも思っていました。

そんな中、前述のお声がけをみた際に「これだ!」という思いのもと、参加させていただき、さらに僭越ながらリーダーを拝命した次第です。

といっても、ある種、ITベンダのみなさまの中で門外漢である損害保険会社の人間（技術的なことは詳しくはわからないw）ということもあって、キャノンITソリューションズでエバンジェリストを務めていらっしゃる西浦真一さんをサブリーダーとしてツートップ的に活動しているところです。

レポート公表まで

レポート作成にあたって活動の中心となったのは、インシデント発生時の各種支援・サービスを提供する事業者さんへのヒアリング、そしてインターネットでの調査です。

各メンバーで調査する領域を分け、メンバーごとに事業者さんへのヒアリング等を行いました。レポートの「あとがき」でも記したとおり、やはりコロナとの闘いという側面はなきにしもあらずでした。

というのも、メンバーのコネクション等から面識がある事業者さんもいる一方で、コネクションもなにもないためヒアリングを実施したくとも、それができない事業者さんもあり、その結果、満足のいく調査ができなかったという点もあったということです。やはり、Face to Faceでのお願い、ご挨拶ができなかったのは痛いところでしょうか…。

いずれにせよ、メンバーの頑張り、そして、業界の著名な方のお力添え（レポートの後ろのほうに、Special Thanksとしてクレジットさせていただいた方のほか、他にも多くの方にお力添えいただいています）もあり、レポートを完成させ、公表するに至りました。この場で感謝を申し上げたいと思います。

今後の活動について（メンバー募集！）

実はもっともっとやりたいことがあります。インシデント発生時の「被害額」を調査するという軸はずらすことなく、もっともっとこのレポートを充実化していきたいと思っています。2022年度版のリリースに向けて、追加メンバーも加えて鋭意検討中…という作業中です（2022年2月現在）。

といったところで、お手伝いいただけるメンバーを募集中です！。特に、インシデントレスポンスのサービスをその顧客向けに提供されている方、または地方において中小企業を中心にUTMなどのセキュリティ商材の営業をされている方、要は現場の方がいると心強いところです（完全ウェブミーティングなので、お住まい・勤務地は関係ないです！）お気軽にJNSA事務局経由で、お声がけいただければ幸いです。

最後に、ランサムウェアの脅威然り、サイバー攻撃による被害は増加の一途を辿っています。被害調査WGの活動、インシデント発生時の「被害額」を伝えていくことは（これだけというものではないですが、）多くの企業・組織のセキュリティ対策を進める上での一助になるのではと思っています。今後とも被害調査WG（「インシデント損害額調査レポート」）をよろしく願いいたします！